

2.14 ポートフォリオの点検

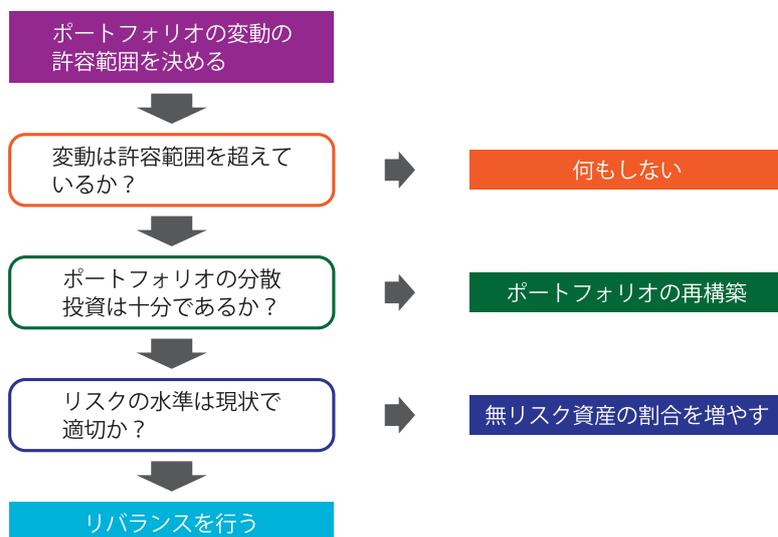
変動の許容範囲をもとにリバランス

ポートフォリオの管理に必要なことは許容範囲の設定です。最初に変動の許容範囲を決めてしまいましょう。ポートフォリオの点検で、許容範囲を超えた変動が発生しているときは、分散投資とリスク水準を確認しましょう。

2.14.1 ポートフォリオの管理の手順

ポートフォリオの管理には、ぜひ、変動の許容範囲を設定しておきましょう。変動の許容範囲とは、Section2.10で紹介した損切り水準のことです。何もこの水準を超えたからすぐにポートフォリオを売却してしまふのではありません。「この水準を超えて変動を起こしたときには次のステップのことを考えましょう」という水準だと思ってください。

図 2.12 ポートフォリオの管理のステップ



最初にポートフォリオの分散投資の効果をチェックしてみましょう。株式に極端に偏っているなど資産クラスとしての確認が一つ、そして、レアルやユーロなど特定の為替のリスクをとりすぎていないかという確認です。リスク資産の資産配分が極端になっているときは修正しましょう。次に、リスクコントロールです。リスクコントロールは、無リスク資産を調整して行います。思っている以上にリスクをとっていると感じたら、無リスク資産の割合を引き上げるようにアドバイスするとよいでしょう。

2.14.2 リスクの説明と調整

「よく分散されたリスク資産のポートフォリオであれば、リスクは10%程度である」と考えてよいでしょう。そして、無リスク資産のリスクはゼロなので、ポートフォリオ全体のリスクは、リスク資産の割合にのみ比例することになります。リスク資産部分の比率×10%がポートフォリオ全体のリスクとなるのです。

リスク資産部分の比率	ポートフォリオ全体のリスク
100%	$100\% \times 10\% = 10\%$
50%	$50\% \times 10\% = 5\%$
0%	$0\% \times 10\% = 0\%$

ポートフォリオのリスクが5%、期待リターンが2%であれば、95%の確率で実際のリターンが、12% (= 2% + 5% × 2) と -8% (= 2% - 5% × 2) の間に入ると解釈できます。「運が悪いときは8%くらいマイナスになることを覚悟しましょう」と説明できます。